

2 学年本気通信

～夏に向けて～



私は千葉県から出たことはありません。(大学は都内に佐倉から1時間半以上かけて通っていました。)高校も県内の県立高校を卒業しました。部活も運動部でした。その分「市船」の凄さを知っているつもりでした。

今年度、市立船橋高校に着任してきました。勉強や部活に一所懸命に打ち込んでいる「市船生」は私の想像していた「市船生」をさらに上回っていました。部活だけじゃない。授業も勉強も一所懸命だ！私の率直な感想です。生徒全体が何かしらの「高み」を常に目指しているからでしょうか。どういった環境に身を置くか、自分の行動がどのように周りの環境に作用するか。やはり、環境や雰囲気というものはとても大切なんだと改めて実感しました。

さて、そんな一所懸命で「本気」な2年生にこんなことを考えてもらいたいと思います。引退したイチロー選手が野球少年たちに送ったメッセージです。

「厳しく教育するのが難しくなっているらしい中学校、高校、大学。社会人になる前に経験する時間、そこで“自分自身を自分で鍛えてほしい”というふうに今、そのことがすごく大事な事だと思います。厳しく教えることが難しい時代に、じゃあ誰が教育をするのかというと、最終的には、自分で自分のことを教育しなくてはいけない。そういう時代に入ってきたんだというふうに思います。」

授業担当の先生がどんなに勉強を教えてくれても、部活の顧問の先生がどんなに技術を教えてくれても、担任の先生がどんなにいろいろなことを教えてくれても、最後は自分。やるかやらないかを選択するのも自分。進路を決めるのも自分。

皆さんには為すべきことがたくさんあります。その為すべきことのために、さらに自分で自分を鍛えてください。大人は皆さんを「本気」でサポートしてくれますよ。 地歴公民科 山口 剛先生

Stop and smell the roses

直訳すると「立ち止まってバラの香りを嗅げ」ですが、「忙しい中でもたまには身近な幸せを感じる余裕を持とう」という意味のイディオムです。

新年度、クラス替えから始まり、気が付けばもう6月です。どんな2か月でしたか？

私も、市船に来て2か月が経ちました。「昨日の部活で、〇〇しました！」「単語テスト〇〇点取りました！」など、授業に部活動に打ち込んでいるみなさんの話を聞くことが、毎日とても楽しいです。

しかし、ずっと全速力で走り続けると、ある時ヘトヘトになって動けなくなってしまいます。家族や友達と話をする、好きな音楽を聴く、スマホの手を止めて深呼吸…簡単にリフレッシュできる方法はたくさんあります。“Stop and smell the roses”上手に息抜きをして、一生懸命な毎日にも、少しの余裕を持るといいですね！ 英語科 菖蒲ひかり先生

「仲間と共に」

あつという間に二年生の夏が始まります。二年目もこのような状況が続くとは思っていませんでした。入学前から楽しみにしていた海外研修も未定となってしまう、市船での学校生活がどんどん過ぎていくのが淋しいです。しかし嘆くのではなく毎日のクラスでの生活を大切にして、いつか高校生活を振り返った時コロナだけでなく楽しい思い出が思い返せるように充実させたいです。 2年A組 小野友花

学年通信を少しでも楽しんでもらいたいと思い、この間自分のクラスで盛り上がった消えた1ドルというクイズを出題したいと思います。

【問題】

A、B、Cの3人がホテルに泊まり、ホテルの代金30ドルを払いました。しかし、当ホテルはキャンペーン中で、実際のホテルは25ドルでした。そこでホテルの支配人は3人に5ドルを返すようにと、フロントの人に5ドル渡しました。フロントの人は3人に1ドルずつ返しても2ドルあまることに気づき、こっそりとあまった2ドルをくすねました。さて問題。3人は返された3ドルを引き、合計27ドル支払ったこととなりますが、フロントの人がくすねた2ドルを足しても29ドル。3人が最初に払ったのは30ドル。あとの1ドルはどこへいつってしまったのでしょうか？

どうでしたか？かなりの難問にクラスのみならず頭を抱えながら興奮していました。この問題が分かった人は、答え合わせと解説をしますので、是非休休みに福永のいるG組までお越しください。 2年G組 福永 剛輝

「変化」

緊急事態宣言により学校生活が約2か月遅れた私達も2年生になり、後輩もできました。部活に入っている人、入っていない人関係なく2年生になり環境など様々なことが変化したと思います。私が所属している野球部では監督が変わりチームが大きく変わりました。更には後輩も入り今までは先輩方がやっていたことを自分たちがやるようになり先輩の大変さを実感しました。しかしチームのことも考えて行動することが大切だと学びました。コロナ禍の今一つ部活動などが出来なくなってしまってもおかしくないと思います。なので1日1日を大切にしていきたいと思います。 2年I組 黒川 祐悟

